

# 平成16年度ユニバーサルデザイン推進の取り組み ～『誰もが暮らしやすい豊かなまちづくり』を目指して～

年齢、性別、身体的能力、言語などの違いにかかわらず、すべての人が生活・活動しやすい環境づくりや、誰もが暮らしやすい豊かなまちづくりを実現するため、平成16年1月に意識づくり、システム、まち、情報・サービスの4つに視点を定め、都留市ユニバーサルデザイン指針を策定し、その推進に努めております。

平成16年度は、主に下記のとりの取り組みを行いました。

平成16年度の具体的な取り組みを紹介します。

## ●普及・啓発の取り組み(意識づくり)

- ・市広報、ホームページによる情報提供
- ・ユニバーサルデザイン展開催
- ・市職員、建設業者などを対象とした研修会の開催
- ・市民を対象としたユニバーサルデザインふれあい講座の開設
- ・学校教育の場におけるユニバーサルデザインの推進  
(心の教育、疑似体験など)



ミュージアム都留でユニバーサルデザイン展開催



市民主体のまちづくりを目指して

## ●社会参加の仕組みづくりの取り組み(システム)

- ・パブリックコメント制度などを活用した市民からの意見募集
- ・まちづくりに市民の意見を反映させる市民委員会制度の実施
- ・男女共同参画の推進
- ・老人大学開校などによる高齢者の社会参加への支援
- ・協働のまちづくりの推進(禾生、谷村地域で推進会発足)
- ・未来を拓く都留まちづくり会議の開催

## ●利用しやすい公共施設などの整備の取り組み(まち)

- ・まちの憩いの空間・休息所『ポケットパーク』の設置(楽山、小形山)
- ・歩行空間の整備『ウォーキングトレイル事業』の実施(谷村地区)
- ・トイレにオストメイトの方が利用できる設備を設置(市役所、文大前駅)
- ・戸沢和みの里コテージへのユニバーサルデザイン化導入
- ・都留文科大学1号館エレベーター設置
- ・市立病院時間外入退院入口への自動ドア設置
- ・市立病院駐車場から時間外入退院入口にかけての段差解消
- ・市役所市民生活課窓口の高さの違うカウンターの設置
- ・市営田野倉団地手すり設置

### ※オストメイト

直腸がんや膀胱がんなどが原因で臓器に障害を負い、手術によって腹部への人工肛門や人工膀胱の排泄口を作った人のことをオストメイトといいます。



市民の歩くニーズに応え谷村地区の市道を整備



聴覚障害のある方が気軽に利用できる窓口対応の充実

## ●満足度の高い行政サービスの取り組み(情報・サービス)

- ・市役所などの公共施設に『耳マーク』を設置  
(聴覚障害のある方が気軽に利用できる窓口対応の充実)